

平成 3 0 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

1 2 月 3 日（5 人）

1 今津 誠一・2 河村 孝・3 山田 耕治・4 曾我 好則
5 石田 卓成

1 2 月 4 日（5 人）

6 宇多村 史朗・7 藤村 こずえ・8 上田 和夫・9 高砂 朋子
10 田中 敏靖

1 2 月 6 日（4 人）

11 山根 祐二・12 和田 敏明・13 山本 久江・14 清水 力志

1 2 月 7 日（4 人）

15 三原 昭治・16 牛見 航・17 清水 浩司・18 田中 健次

No.	1	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1	農道牟礼小野線建設の是非	農道牟礼小野線は当初、小野地域の農産物を周南方面に輸送するという目的あるいは名目で建設されてきた。 ただ、小野地域では計画当初から今日まで、農道を建設して輸送する程の農産物は生産されておらず、「奇怪な計画」であると同時に「無駄な公共工事」との見方が強かった。 しかし、一期工区においては鈴屋と真尾を繋ぐ佐波川の架橋工事が含まれていたため、このことが殊更問題視されることはなかった。 二期工区においては過大な財政負担や効果に対する疑念あるいは災害誘発の懸念等が委員会において指摘された。 今回の三期工区の建設は、当初の目的とは別に農大と農業試験場を統合化した新たな拠点への交通アクセスの向上という目的が加わっている。 明らかにされるべき懸念や疑念を多く含んでいるので、建設の是非について再検討の要がある。
2	駅北公有地の売却	新庁舎建設の位置は現在地と決定した。 従って、当初有力な候補地とされていた駅北公有地の有効活用が課題となってきた。 当該公有地は中心市街地の重要区域を占めており、今後はその活性化のため民間による開発に委ねることがベストと考える。 活性化に寄与する民間への売却を提案する。
3	新年度予算編成について (市長行政報告)	三つの基本方針を示し、その中で「地方創生に向けた取組の推進」を挙げられた。 市長はこれまでハウフ・ビズの開設とそれに伴う予算化については特に産業戦略本部等においても意見を伺いたいと申してこられた。 11月6日開催された産業戦略本部の会合では、複数の委員から「経営相談の機能強化」について意見が出され、又、ある委員から具体的にハウフ・ビズ開設の要望もあった。 予算編成において考慮して戴きたい。

No.	2	河村 孝	
質 問 事 項			要 旨
1 中小企業支援策の強化・充実について			(1) 中小企業支援策を知らない企業が多いため、国県市の支援策の周知体制を整備すべきではないか。 (2) 慢性的な人手不足・労働力不足が続いているが、若年者雇用対策の更なる充実の他に、シニア技術者の活用など、本市独自の新たな施策が必要ではないか。 (3) 第1回防府市産業戦略本部を終えて、本市の産業力強化に向けて、総合的な中小企業支援策のため、中小企業支援機関の連携強化が必要ではないか。
2 高齢者等ふれあい戸別収集について			(1) 高齢者等ふれあい戸別収集の実績、周知方法について (2) 要件を緩和すべきではないか伺う。

No.	3	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	子ども達の安全安心に向けた事業の取り組みについて	(1) 子ども達が犯罪や事故に巻き込まれた、また巻き込まれそうになったという報告の件数と推移は？ (2) 子ども達が犯罪に巻き込まれるケースを想定した訓練や指導は？ (3) 各小・中学校の防犯カメラ設置の進捗状況は？ (4) 4年生（1／2成人）からの防犯ブザー等の啓発活動の状況は？ (5) 保護者の携帯端末等で自身の子どもの現在位置が確認できる位置情報サービスを提供している自治体も増えているが、本市、教育委員会の考えは？
2	防府市の情報発信について	(1) 情報発信課が設置されてからの新たな取り組みと、今後の情報発信に対する考えは？ (2) ホームページのカレンダーを防府市のイベントを網羅すべきと提案したが、その後の考えは？ (3) 防府市の情報をスマホアプリで発信する方法も提案したいが如何か？

No.	4	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	防府市産業戦略本部について	市長就任間もなく、本市の経済を活性化させる取組を総合的に推進するため、「防府市産業戦略本部」を設置し、11月6日には初会合を開催。市長自ら本部長に就任され、並々ならぬ決意を感じている。 初会合では、委員から様々な提案や意見が出されたが、今後、これらを意見集約し、地域経済の活性化にどう活かしていくのか、市長のご所見を伺う。
2	公共施設の見直しについて	実質単年度収支が4年連続赤字の本市において、公共施設は財政的にも大きな負担となっている。 これから庁舎の建替えも控え、文化福祉会館等の再配置など、数多くの課題を抱える本市においては、公共施設の計画的・効率的な運営に見直すことが重要と考える。 このような中、商業施設として建てられたルルサスは、閑散とし、空き店舗も目立ち、現在、2階以上は高額な家賃等を支払って図書館や市民活動支援センターなどの公共施設が入っており、今の状況は残念でしかない。 また、昨年10月7日にオープンした「山頭火ふるさと館」は1年が経過したが、2年目にして3千万円を超す赤字施設となっているので、入館料等の見直しを検討していただきたい。 いずれにしても、これから多くの公共施設の建替え、統合及び再配置等が発生するが、公共施設の運営について、市長のご所見を伺う。
3	市長行政報告のうち、農業試験場の誘致について	「農林業の知と技の拠点」形成に呼応した本市農業の再生強化について、市長のご所見を伺う。

No.	5	石田 卓成	
質 問 事 項			要 旨
1 軽油引取税の課税免除手続きについて 2 民間が所有しておられるＡＥＤを市民のために最大限活用させて貰っては？ 3 消防職員委員会について 4 遺品の整理に伴う不用品の処分について 5 医療用ウィッグ等の助成について 6 市長行政報告のうち、「農林業の知と技の拠点」との連携による担い手対策について			7月定例議会の一般質問で、今年度から県の出先機関である山口県税事務所収納課の防府分室が防府市から撤退したため、農業者が市内で手続きが出来ずに困っているとの声があるので、県と調整して欲しいと要望しましたが、その後、どのような話になりましたか。今後の見通しを教えてください。 (1) 民間の企業等が所有するＡＥＤの設置の状況を消防本部で把握しておられますでしょうか。 (2) これまでに１１９番通報を受け、消防隊や救急隊が出場し、一般市民を対象にＡＥＤが使われたことは、何回ありましたか。過去３年分の実績を教えてください。 (3) 民間の企業等が所有するＡＥＤを、３年に１回のペースで行われている消防用設備等の立入検査などの際に、一般市民向けにも使用させて頂けないか聞き取り、１１９番通報の時に、口頭指導をすることができれば、市民の命を守る可能性が、かなり向上すると思われるのですが、このような形で聞き取りをして頂けないでしょうか。 (4) 企業等が一般市民の為にＡＥＤを使用することに同意して下さり、実際に市民のために使用されたことが確認できた場合には、ＡＥＤのパッド代などを市で補填するように配慮してはいかがかと考えておりますが、どのようにお考えでしょうか。 (5) 現在、防府市では全ての小中学校で普通救命講習が行われており、素晴らしい取り組みだと考えておりますが、学校の運動会などで、心配蘇生法や、ＡＥＤの使用法、消火器の使用法などを、障害物競走のような形で、復習を兼ねて競技の中で取り入れるよう各学校に促してみたいと考えているのでしょうか。 今年度、消防職員委員会に出された主な意見の内容は、どのようなものがあったのかを教えてください。 市内在住で、お一人暮らしの方が死亡され、クリーンセンターに不用品の収集を依頼する場合、市外や県外等に住む遺族が、平日に立ち会わないと引き取って貰えないと伺っております。今後は、このようなケースが増えてくることが予想されますので、委任状で、遺族の意思が確認できた場合には、業者や知人等であっても立ち会いの代行を認めた方が良いと考えますがいかがでしょうか。また最近では遺品整理の代行業者も増えてきておりますが、これらの業者の場合でも、事前に許可を出すことで、搬入の代行を認めてはいかがでしょうか。 抗がん剤治療をしている方が薬の副作用によって脱毛してしまうことにより使用される医療用ウィッグや、乳がんによって乳房の切除を余儀なくされた場合の補正下着について、心身のケアのためにも市として何らかのサポートをした方が良いのではないかと考えていますが、今後どのようにしたいと考えておられますでしょうか。 山口県が、この度「農林業の知と技の拠点」形成基本計画（案）を公表したが、この拠点との連携による本市の担い手対策について、市長のご所見を伺います。

No.	6	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	地域コミュニティについて	現在富海地域と小野地区の中山間地域において、地域活性化協議会が設立され、地域の将来の姿を描いた、夢プランを策定している。地域の活性化に必要な予算を、地域団体から提出してもらう地域予算提案制度を設けている自治体もあると聞く。今後どのような形で地域の要望を把握し、施策に反映していくお考えか伺う。
2	地籍調査について	(1) 地籍調査の、法的な根拠・予算も踏まえ、調査手順と現在までの進捗は如何か。 (2) 山の境界を知るものが高齢化し、山林での現地立会に支障が出ているのではと危惧するが、今後どのように実施される計画か伺う。 (3) 未実施の地区については、山口市が実施している地籍調査森林境界明確化促進事業を参考に、今のうちから地元説明を含めた準備が必要と考えるが、如何か。 (4) 先端技術の実用化に向けた規制緩和が、政府により検討されていると聞く。ドローンによる空撮・測量など地籍調査の調査範囲の拡大・スピードアップを図れないか。
3	防府市市民活動支援センター登録団体に対する駐車場の無料サービス券の発行について	(1) 現在の防府市地域協働支援センターの貸室の利用状況と市民活動支援センターの登録団体数と利用者数は如何か。 (2) 市民活動を目的とした登録団体は市民活動支援センター施設利用料を無料とされている。駐車場施設「てんじんぐちパーキング・ルルサス」の駐車料金は1時間は無料だが、登録団体の会議の多くは1時間を超過する。会議が長くなり1時間をオーバーした登録団体の希望者に対し、40分無料のサービス券を交付できないか。

No.	7	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	教育環境の充実について	通級指導教室の拡充について 2020東京五輪・パラリンピックまで2年をきり、本市ではセルビアバレーボールチームのホストタウンとして各事業を展開している。 これまでの成果と課題及び今後の取り組みについて伺う。
	2 ホストタウン事業について	

No.	8	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	大平園を拠点とした共生型複合施設の整備について	昨年6月議会で提案しましたが、その後の進捗状況は？
2	防府市都市計画マスタープランについて	(1) 市街化調整区域における宅地開発への対応について (2) 宅地開発された区域周辺の施設整備について

No.	9	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	市営住宅の充実について	(1) 昨今の応募状況、入居状況について (2) 維持管理、長寿命化のための方策について (3) 既に耐用年数を経過している市営住宅の今後の活用方針について (4) 民間住宅ストックを活用した「借上市営住宅」「家賃補助制度」の導入について
2	女性の活躍応援について	(1) 妊娠・出産・育児総合支援体制、小児救急医療体制の充実など、安心して子供を産み育てられる環境づくりについて (2) 女性の活躍応援・人材確保支援事業である「ほうふ女性しごと応援テラス」「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」について
3	高齢障がい者の介護保険サービス利用について	高齢障がい者が介護保険サービスを円滑に利用するための体制について
4	自治会設置のLED防犯灯の更新について	LED防犯灯への交換が進み、大幅に更新期間が延長されたが、今後の更新への対応はどのようにされていくのか伺う。

No.	10	田中 敏靖
質 問 事 項		要 旨
1 都市計画行政について	(1)	都市計画道路について
	(2)	線引見直しについて
	(3)	開発許可の指導について
2 農業行政について	(1)	一種農地の指定について
	(2)	休耕田の遊水池対策について

No.	1 1	山根 祐二
質 問 事 項		要 旨
1	市営住宅・市有住宅のハト被害防止対策について	(1) 本市の管理する市営住宅・市有住宅のうちハト被害を把握しているのは何処で、その被害防止対策はどのようにしているのか。 (2) 市営住宅・市有住宅の共用部分のハト被害は把握しているか。その場合、どのような対応ができるのか。
2	カーブミラーの設置について	(1) 防府市市道等道路反射鏡設置要綱における設置基準について、第3条にある市道と私道の交差点において「沿線に土地、建物とも5戸以上の所有者及び車両の出入りがあること」としているが5戸以上としているのはなぜか。 (2) 沿道に戸建住宅が3戸と賃貸戸数4戸建アパートが2棟ある場合、5戸以上の要件に該当するのか。 (3) カーブミラー設置要望が出ると、市の担当者が現場確認に行くと思うが、どのようなことが設置の可否となるのか。

No.	1 2	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1	いじめ問題について	(1) 現状について (2) 事前の対策について (3) いじめが確認された場合の対応について
2	測量、設計等の業務委託について	多くの事業の測量、設計等が業務委託される理由について

No.	13	山本 久江
質 問 事 項		要 旨
1 防災対策の充実について		(1) 地域の災害対応力の向上のために、防災行動計画（タイムライン）の作成をどのように考えているのか。 (2) 最近の災害被害の特徴に、関連死の増加があるが、その主な原因の一つに、避難所生活があげられている。その改善について、どのように取組むのか。 (3) 防府市災害見舞金等支給要綱の見直しについて (4) 土砂災害危険箇所における土砂災害防止施設の整備が遅れている。県への要望等、さらに強めてほしいがどうか。
2 ため池対策について		(1) 全国的にも、ため池老朽化の危険性は災害のたびに指摘されているが、農家の減少や高齢化等で維持管理が困難なため池への対策をどうすすめるか。 (2) 「防災重点ため池」に対する取組みについて (3) ハザードマップの活用をどのようにすすめるのか。

No.	1 4	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1	小中学校の普通教室のエアコン設置について	平成30年9月議会において、市長より遅くとも2年以内に全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置することを表明され、一般会計補正予算で実施設計に関する空調設備整備事業の予算が計上されたが、今後はどのように計画を進めていくのか。
2	危険なブロック塀について	(1) 平成30年7月議会において、小・中学校のブロック塀の危険個所が報告されたが、補修・改修の計画をどのように進めていくのか。 (2) 一般家庭等のブロック塀の状況について (3) 空家のブロック塀の状況について
3	生活保護費の見直しによる市民生活の影響について	(1) 厚生労働省は生活保護費の見直しを行い、平成30年10月より生活扶助費を見直されたが、これにより市民生活にどのような影響があるか。 (2) 就学援助の認定基準について

No.	15	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	市の公共施設、公共物の市有財産の利活用について	市が公表した２０１９年度から２０２３年度までの５年間の中期財政計画によると、市の財政状況は、実質単年度収支が４年連続赤字となり、財政調整基金残高も急激に減少。将来的に持続可能な財政運営のためには収支改善、収支の均衡が図れるように取り組むことが必要不可欠としている。そのなかで、財政健全化対策としての取り組みの集中的取り組みのうち、市有財産の有効活用を掲げているが、その具体的な取り組みについての考えは。
2	消防団活動に対する支援等について	消防団の団員数等の状況。また、消防団応援事業等の支援策の現況と今後の取り組みは。

No.	1 6	牛 見 航	
質 問 事 項			要 旨
1 農道牟礼小野線の早期整備について			農道牟礼小野線の全線開通は小野地域の活性化にとって非常に有効と考えられるが、現在の整備状況と来年度以降の取組について伺う。
2 今後の観光振興施策について			本年度山口県では山口ゆめ花博が大成功を収め、本市では「ほうふ幸せますまち博」などの明治維新１５０年を記念する取組が展開された。 これらの取組を（一社）防府観光コンベンション協会と連携し、来年度以降どのように展開されようとしているのか。 今後の観光施策についてのご所見を伺う。

No.	17	清水 浩司
質 問 事 項		要 旨
1 中山間地域の振興について		(1) 拠点作りの支援はできないか。 (2) 特色のある学校作りで生徒の確保の方策は。 (3) デイステーションの支援策について

No.	18	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1 文化を活かしたまちづくりについて		(1) 「シビックプライド」の視点をまちづくり・地域づくりに活かすべきではないか。 (2) 文化財郷土資料館を充実すべきではないか。 (3) 旧防府商参会館を大村能章記念館として、整備してはどうか。 (4) ふるさと美術館を整備すべきではないか。
2 子どもの貧困対策推進について		(1) 生活困窮世帯への学習支援事業の拡大をすべきではないか。 (2) 学力2極化への改善策を検討すべきではないか。 (3) 母子世帯及び父子世帯に対して、市営住宅の抽選時に当選確率を高める優遇制度を実施すべきではないか。 (4) ひとり親家庭等自立促進計画を策定すべきではないか。
3 市長行政報告について		新年度予算編成について ア これまで予算編成方針と一緒に公表されていた予算編成要領が今年は公表されていないが、どうしてか。公表すべきではないか。 イ 予算の査定において次の視点を取り入れることについて、どう考えておられるのか。 (ア) 地域経済への影響という視点 (イ) 長期的な視点 (ウ) 外部効率性の視点 (エ) 市民との協働、住民参加の視点

